

共通専門科目	検査総合管理学					
		1単位	演習	平成30年度	前期	3年次
臨床検査学科	必修					
科目名	検査精度保証学 Quality assurance of Laboratory Test					
担当教員	◎畑中徳子 山本慶和					
目的	検査データを保証する方法として精度管理があるが、多くの精度管理方法があり、それぞれには目的がある。本講義では個々の精度管理方法を学ぶとともに活用方法を事例を通して学ぶ。					
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーサビリティ体系に基づく正確なデータを出すことの重要性を理解できる。 ・誤差の種類と精度管理との関係や検出方法を理解できる。 ・サンプリングから報告までの精度保証の意味を理解できる。 					
他科目との関連	検査管理学演習、検査管理総論、検査情報システム学、検査機器学					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	筆記試験点数				0.8
	レポート	提出状況とレポート評価点				0.2
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	標準臨床検査学 検査機器総論・検査管理総論（医学書院：ISBN978-4-260-01636-0）					
参考資料	すぐわかる統計解析、臨床検査精度保証教本（日臨技）2010、臨床検査室のクォリティ・マネジメント、JJCLA2003, 2006, 2008, 2010マニュアル、エビデンスに基づく検査診断実践マニュアル（日本教育研究センター）					
備考 （受講上注意、事前学習等）	適宜、資料を用いる（eラーニング掲載、もしくは印刷物配布）					